

ひとが集う。まちが変わる。
WAZAC 函館・五稜郭行啓通り
 第2回 家ではなく「街」と暮らす

現在、本町・行啓通り沿いで建設が着々と進んでいる新築分譲マンション「WAZAC（ワザック）函館・五稜郭行啓通り」（13階建・全59邸）。ワザックは日本ハウスホールディングスが手がけるマンションブランド。国内有数の木造建築ハウスメーカーとしての実績と最新の「技と匠」の粋を結集した新たな集合住宅の形で、これが函館4棟目となる。

このマンションを建てるにあたり重要視したのが、その「立地」だ。目の前には丸井今井やシエスタハコダテといった大型商業施設、さらに徒歩圏内には人気のある飲食店や物販店が点在し、美術館や映画館などの文化施設があり、自然豊かな旧五稜郭跡という国の特別史跡まである。その魅力的な立地には、住む人にこの街ごと「住まい」と感じてほしいという願いが込められている。ごく一部ではあるが、今回は「WAZAC 函館・五稜郭行啓通り」周辺の魅力的なスポットを紹介したい。



「WAZAC（ワザック）函館・五稜郭行啓通り」完成予想図（外観・エントランスホール）とリビングの一部。五稜郭が本来持つ和の要素と、伝統的な技と匠を生かした現代建築を信条とするワザックのコンセプトを合致させた「和モダンデザイン」を随所に散りばめている。

pâtisserie maison FUJIYA

函館市本町17-2 ヴィルヌーブ五稜郭2F
0138-31-3232



2020年に元町・二十間坂上に誕生し、その料理のクオリティの高さで遠方からも客が訪れるフレンチレストラン『メゾン フジヤ』。そして翌年、同店が本町・行啓通り沿いにオープンさせたのがこちらのパティスリー・バーラウンジ『パティスリー メゾンフジヤ』だ。いま全国の催事から引き合いが途絶えることのないフラッグシップ商品『ガトーフロマージュ』や『ガトーフリーズ』をはじめ、シンプルさの中に美しさと本質的なおいしさを込めたフランス菓子を提供。またパティスリー内にはカジュアルレストラン『ターブル ドレヴール』も併設している。



現地案内図はこちらより

OZIO Y.N店

函館市本町24-1シエスタハコダテ1F
0138-86-5171



函館生まれの靴作家で、いまや全国にファンをもつ『OZIO』永嶺康紀の作品。函館市内にある3店舗の中でもここは彼の最新作をいち早くラインナップし、地元生活者向け・大人向けの商品を揃える店。永嶺氏自らがスケッチした動物や街並みの絵をデザインベースに、若き頃に習得した伝統的な製造技術を用いて生み出す靴、財布、カードケース、眼鏡ケース、靴などを販売する。そのどれも少量生産で希少価値が高く、永く使える革製品ばかり。世代を選ばずに愛されるものが多く、大切なひとへのプレゼントとしても重宝する。

stem

函館市本町7-7
0138-56-6755



まさにマンションの目の前にある秘密基地的な佇まいのバー。行啓通り沿いで長年営業する喫茶店『イタリアントマト』2Fにあるこちらの店は、特徴的な入口をくぐり薄暗い階段をのぼると、フロアの向こうに行啓通りの人と車の往来が一望できる大きな窓が目飛び込む。酒を注文すると出てくるのが週替わりのお通し3種。これがすべて季節を感じさせる品々で、手が込んでいて、なによりもおいしい。通好みの酒の品揃えだけでなく、こういった表立って主張していない手料理のレベルの高さもファンに愛されるポイント。特にパスタの味は折紙つき。

鮎 かん藤

函館市梁川町22-4
0138-84-1010



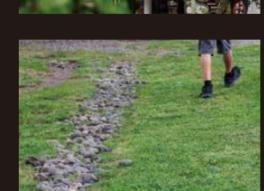
マンションから行啓通りを下って徒歩3分ほどの場所にあるこちら。店からの情報発信は一切なく、ネット検索でも詳細情報が出てこない。地元客から愛される「知る人ぞ知る」鮎の名店だ。街にひっそりと溶け込むような控えめな存在感と雰囲気は、落ち着いて食事を楽しみたい人や会食に最適。お好みで注文できる各種握りに加えて、コース仕立ての「おまかせ」（16,500円・税込）は店の定番。季節を映し出す手の込んだお通し3種や一品料理、お造り、握り10貫、お椀などがつく満足度の高い内容。気さくな大将で、心からリラックスして上質な鮎が楽しめる。

SOUNTRA COFFEE&MUSIC

函館市本町24-1 シエスタハコダテB1F
Instagram / @sountra



この春に無印良品シエスタハコダテ地下1階に今年12月までの期間限定店としてオープンしたコーヒースタンド。その店名が示すように、同店にとってコーヒーと音楽は切っても切り離せない関係で、以前は市内でCD屋兼カフェとして営業。当時の店内では店主の鹿内誉之さんが厳選した200枚以上のCDを販売していた。現在も【2000年以降に活動する、あまり知られていないが良い音を奏でるアーティストの作品】とコーヒー豆のセット商品を販売し、ギフトシーンでも好評だ。シエスタ内または周辺での買い物を終えて帰宅する前にフラッと寄って一息つける場所。



【第二期分譲】モデルルームオープン／先着順申込受付中

販売価格	※100万円単位	販売価格	※100万円単位	販売価格	※100万円単位
1LDK	3,100万円台～	2LDK	4,100万円台～	3LDK	4,900万円台～

お問い合わせは
 「ワザック函館・五稜郭行啓通り」マンションギャラリー 北海道函館市本町32-3
 ※お車でお越しの方は、お近くのコインパーキングをご利用ください。（お帰りの際、ご精算させていただきます）

資料請求・来場予約受付中

0120-520-026 営業時間/10:00～18:00 定休日/火・水曜日(祝日を除く)

ワザック函館 検索

LINE 公式LINE

Instagram 公式Instagram

ひとが集う。まちが変わる。

WAZAC 函館・五稜郭行啓通りができるまで。

第1回 設計とデザイン

和のまち「五稜郭」の新たなシンボルへ

函館の中枢を担う街・本町。その新たなシンボルとして新築分譲マンション「WAZAC（ワザック）函館・五稜郭行啓通り」（13階建・全59邸）の建設が現在着々と進んでいる。2015年に東日本ハウスから社名変更した日本ハウスホールディングスが手がけるマンションブランド・ワザックは、国内有数の木造建築ハウスメーカーとしての実績と最新の「技と匠」の粋を集めた新たな集合住宅の形。いまから10年前、函館でも梁川町にワザック三部作といわれる3棟のマンションが生まれ、その後の街の景色を鮮やかに変えた。



PROFILE
二木柳 慶一
株式会社二木柳建築研究所・代表。1955年、北海道生まれ。1985年に二木柳建築研究所を設立し、七飯町道の駅「なないろ・ななえ」、ホテルセンチュリーマリーナ函館、函館ひかりの屋台 大門横丁、函館国際・海洋総合研究センター、函館トヨペット本社など、数々のシンボリックな建物の設計・監理を担う。

市内4棟目となる今回のワザックの設計・監理を担当したのは、これまで函館および道南において数々のシンボリックな公共建築や商業建築などを手がけてきた「株式会社二木柳慶一建築研究所」。代表であり一級建築

士の二木柳慶一さんにとって、ここ本町を含む「五稜郭」という地には特別な思いがある。「自分なりに五稜郭に対するイメージというのがあって。函館は早くから港がひらけた影響で洋の文化が浸透して、現在にいたるまでどちらかというと洋のイメージが強めの街ですけど、五稜郭に関してはやはり『和の地』なんです。戊辰戦争の舞台となつて幕府軍最期の地となつたこの

街は、日本の新しい夜明けの象徴でもあり、その後の日本が劇的に変化していくきっかけになつた場所。そんな歴史背景をもつ五稜郭は、僕にとってはやっぱり和の街なんです。まずはその思いを生かした日本の伝統建築の文化と最新の現代建築をうまく融合させることを目標にスタートしました」

二木柳さんが掲げた五稜郭が本来もつ「和」の要素は、前述したように伝統的な技と匠を生かした現代建築を信条とするワザックのコンセプトとこの上なく合致した。外観は重厚感あふれる墨色を基調としたタワーデザイン。ファサード（正面部）には、特別史跡・五稜郭跡の石垣を意識した天然石調タイル（日本ハウスHDオリジナル）を採用。住まいの顔ともいえるエントランスホールなどの共用部には、日本古来の伝統的手法を用いて繪



エントランスホール完成予想図。本文にふれた「鑑張り」や「むくり」の他にも、掘り溝に箔を埋め込む「沈金」の技法を木調シート壁に埋め込んだLEDライン照明で表現。細部にわたり和の要素が入っている。



各戸のリビング・ダイニングはすべてワイドサッシ採用で開放的で明るい空間を演出。ラグジュアリーで心地いい空間でありながら、住まいの個性や好みが生かされるような「余白」を意図的に残している。（写真はモデルルーム）

や木調建材を積極的につかった「和モダンデザイン」を展開。木造家屋の外壁に見られる伝統的な張り方「鑑張り」を錆調シート鋼板で表現したり、社寺仏閣、数寄屋建築の屋根に見られる「むくり」を檜調天井ルーバー（格子）で表現するなど、風格のある上質な空間を演出している。

このマンションを設計するにあたり、二木柳さんが五稜郭本来のイメージと同様に重要視したのが、住まい手がこの街で暮らすことを心から楽しめる場所にするのだ。「考え方としては各戸の広さを求めるのではなく、ここに住む人たちが地域や街がまるごと自分の住まいと思える場所づくり。行啓通り沿いというこの立地は、丸井さんやシエスタハコダテさんが目の前にあつて、徒歩圏内に評判のいい飲食

店がたくさんあつて、学校や病院があつて、国の特別史跡まである。その中枢にあるのがこの建物です。小さい街ゆえの利便性の高さを指して函館のことをよく『コンパクトシティ』と表現することがありますが、どこに行くにも近いという利便性だけでは暮らしは楽しめないと思うんです。街のことを我が家のようにつくりたいと思つて。そう

思えてこそ人が集まり、街が磨かれ、さらに魅力が増してまた人が集う。それこそ僕が集合住宅の設計をする際にいつも願うことで、今回のワザックは五稜郭という特別な街にあるから余計にそう感じます。このマンションの完成が、そんな思いをいだく我々の、ある意味『回答』になればいいなと思つています」。



【WAZAC（ワザック）函館・五稜郭行啓通り完成予想図。重厚感のある全体色に対し、中央部には生成色のタイルをアクセントに使い、五稜郭らしい若さや清々さを表現。



現地案内図はこちらより



【第二期分譲】モデルルームオープン／先着順申込受付中

販売価格 ※100万円単位 販売価格 ※100万円単位 販売価格 ※100万円単位
1LDK 3,100万円台～ 2LDK 3,800万円台～ 3LDK 4,900万円台～

お問い合わせは
【ワザック函館・五稜郭行啓通り】マンションギャラリー 北海道函館市本町32-3
※お車でお越しの方は、お近くのコインパーキングをご利用ください。（お帰りの際、ご精算させていただきます）

0120-520-026 営業時間/10:00～18:00
定休日/火・水曜日（祝日を除く）

ワザック函館 検索

《事業主・売主》
株式会社日本ハウスホールディングス

